

通販生活 2017夏号に掲載されました

中華レストラン「風の音」(横浜市)

レストランで味わう2

ひと口、刻み、ミキサーなど、リクエストにその場で対応してくれる、家の近くにあったらいいなと思える店。

食事がうまく摂れないボクだったたまには外で食事もしたい。本当はそう思っている。けれど、出かけても食べられるものなんて無いとあ

きらめる。出かけること自体が億劫になる。横浜の住宅街にある「風の音」は、家の近くにこんな中華屋さんがあったらいいなと思える、そんな店だった。

介護施設などを手がけるアイシマが運営する中華料理店。介護食が必要な方には、「ひと口」「刻み」「ミキサー」などリクエストすればその

場で対応してくれる。料理一皿を「半分刻みに、半分普通に」、そんな要望にも応えてくれた。さすが介護施設が母体だけあって、痒いところにも手が届くサービスだ。

ボクが行ったときにも介護施設入居の高齢者が外食に見えていた。とはいえ、驚いたことにお客さんは一般の人が8割。介護食を利用する人が2割ぐらいだという。街の普通の中華店なのだ。

上海出身の料理長が料理を作る。近所の人たちがランチにやってくる。トイレももちろんバリアフリー。車椅子のボクでも気を使わずに入れた。これから数年の間に、介護が必要な人も一般の人も関係なく一緒に使える店がきっと増えるだろう。超高齢化社会の日本はそうでなければならぬところにきている。



1 骨付き豚肉とさつま芋の甘酢炒め定食

週替りランチは、800円〜。上が通常食、下が刻み食。

2 大海老のピリ辛炒め

ひと口サイズ

3 餃子

普通食(左上)、刻み食(右上)、ミキサー食(下)



●中華レストラン「風の音」

神奈川県横浜市瀬谷区三ツ境159-10
電話：045-369-0522

